

Module LLM UiFlow2 クイックスタート

概要

Module LLM モジュールはさまざまな M5 マスターコントローラと組み合わせて使用できます。本チュートリアルでは、Basic マスターコントローラを例に、UiFlow2 で Module LLM をプログラミングで制御する方法を紹介します。



準備

- [UiFlow Web IDEチュートリアル](#)を参照して、UiFlow2 の基本的なワークフローを理解し、[M5Coreファームウェアの書き込みとプログラムのアップロードチュートリアル](#)に従って、デバイスの UiFlow ファームウェアの書き込みと UiFlow 2 への接続を完了してください。

例

以下に基本的なサンプルプログラムを示します。必要に応じてダウンロードし、UiFlow 2 にインポートして使用できます。

- サンプル:
 - [get_model_list](#): Module LLM のモデルリストを取得します。
 - [kws_asr](#): KWS によるウェイクワード検出 → ASR をトリガーして音声を変換します。(KWS + ASR)
 - [text_assistant](#): テキストを介して LLM モデルに内容を入力し、推論結果をテキストとして出力します。(LLM)
 - [tts](#): TTS モジュールを使用してテキストを音声再生に変換します。(TTS)
 - [melotts](#): MeloTTS モジュールを使用してテキストを音声再生に変換します。(TTS)
 - [voice_assistant](#): KWS によるウェイクワード検出 → ASR をトリガーして音声を変換 → 変換された内容を LLM 推論の入力として使用 → 最後に TTS を介して推論結果を音声として出力します。(KWS + ASR + LLM + TTS)
 - [yolo11n with UVC](#): USB カメラを介してビデオストリームを読み取り、ビデオストリームを yolo11 に送信し、出力認識結果を推論します。
 - [vlm](#): CoreS3 カメラを介して画像を読み取り、画像を VLM に送信し、出力結果を推論します。

データシート

- [Module LLM UiFlow2 API](#)

動画